

# ポリカーボネートの末端基構造解析

熱分解GC/MSでポリカーボネートの末端基、  
製造法の区別が可能です

測定法 GC/MS

製品分野 電子部品・製造装置・部品・日用品

分析目的 組成評価・同定・製品調査

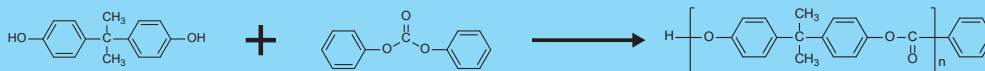
ポリカーボネートは、耐衝撃性、耐熱性に優れたエンジニアリングプラスチックであるため、自動車のランプレンズや内装部品などに広く使用されています。ポリカーボネートの製造法には主に2種類の方法があり、ポリマーの物性に影響を与える末端基構造は、製造法によって異なります。ポリマーの末端基部分は主鎖に比べて微量であるため、その構造解析が可能な分析手法は限られます。本資料では、熱分解GC/MSを用いてポリカーボネートの末端基構造を評価した事例を紹介します。

## データ

### ポリカーボネートの製造法

①ポリカーボネート（溶融法）

※エステル交換反応（重合停止剤の添加なし）



②ポリカーボネート（溶液法）

※重縮合反応（重合停止剤の添加あり）



### 測定結果

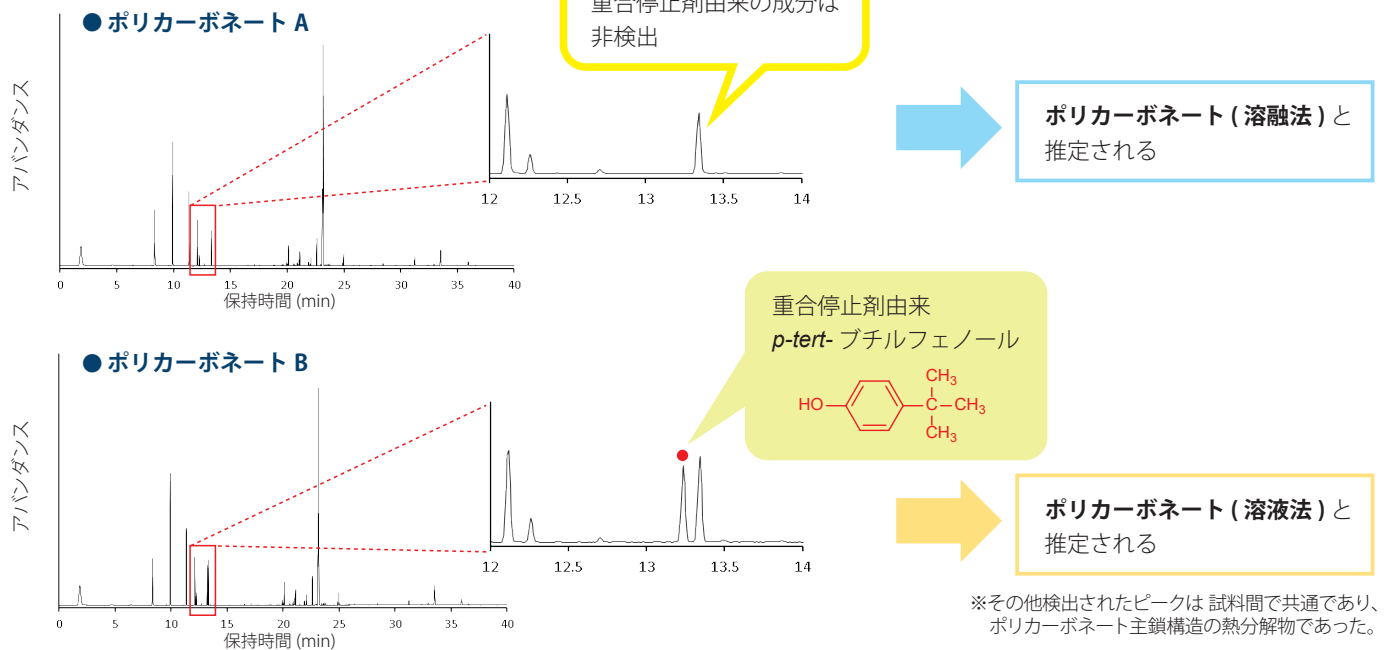


図1 ポリカーボネートの熱分解 GC/MS クロマトグラム

**POINT** 熱分解 GC/MS でポリカーボネートの末端基などの詳細構造を解析することで、  
製造方法の区別が可能です。

